



みやま

2026/1/14

あいさつで
こころかよわす
神野っ子

宍粟市立
神野小学校



地域とともにある学校に

校長 春名 隆行

新年、あけましておめでとうございます。旧年中は本校の教育活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。今年も児童、保護者、地域の方々と力を合わせ、教育活動をさらに充実させていきたいと考えています。本年もどうぞよろしく願います。

令和8年、神野小学校は大きな節目を迎えます。11月25日の創立記念日で、150周年を迎えることとなるからです。今から150年前、明治9年（1876年）11月25日に神野地区すべてに学校ができ、この日を開校記念日とすると記録にあります。

明治初期の日本といえば、国全体が大きな変革を遂げた時期でした。それも、想像できない速さで。その当時に生きた人々は、政治・経済・文化などあらゆるものが変わろうとしている大きな波の中で、誰もが力を合わせ、必死の覚悟で暮らしを守り発展させてこられた。その中でも、特に教育の面での進化は、この度、神野小の150年を振り返る中で多くを考えたこととせられま



【明治44年頃の校舎】

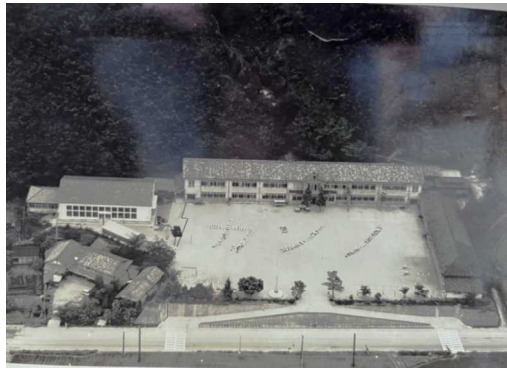
した。

明治5年、政府によって「学制」が發布され、全国で学校が設置されることとなりましたが、当時はお寺や民家を借用するという形でした。ところが、学ぶための教育費の負担はとても大きく、子どもたちも家族と共に働かざるをえなかった時代です。また、学ぶ場所があっても、学ぶために必要となる人やものもまだ十分整っていませんでした。国が学ぶことの大切さを訴えても、親が子どもを学ばせたい、子どもたちが学びたいと思っても、誰もが学校に通えるような状況ではありませんでした。

しかし、その状況は短期間で大きく変わっていきます。神野地区のことについての詳細はわかりませんが、山崎町史によると、当時の宍粟の就学率は30%未満で改善されない時期が続いたようです。ところが、明治20年代に40%をこえ、明治40年代には98%に届くまでになりました。

西洋の新しい技術や生活スタイルが急激に広まっていったのは都会に限られていました。宍粟ではその近代的な文明を目にするのは少なく、まだまだ江戸時代のような生活が続いていたことでしょう。近代化という点において、目に見える部分では確実に都市部との格差がひろがっていました。ところが、学びが人をつくり、人生や地域を豊かにするという思いは、決して都市部にはひけをとらなかつたのです。地域住民による寄付、地域の有志による各家庭への啓発や就学援助など、地域全体で誰もが学べる環境を整える地道な努力が積み重ねられます。そのことが、学ぶ価値への気づきや学ぶ意欲を高めることにつながり、就学率を98%に押し上げるまでになりました。地域総出で、地域とともにある学校をつく

り、子どもたち一人一人の未来を保障するという文化は、この頃から脈々と受け継がれてきたのだということを思い知りました。学制の変遷などを経て、現在の「神野小学校」が誕生したのは、昭和2年のことです。昭和2年度の卒業生は86名でした。以降、7年間にわたって、3513名の方々が卒業されています。一人でも多くの方々と共に、神野小学校がこれまで支えられ守られてきたことに感謝し、創立150周年を祝い、神野地区のすばらしさを未来に引き継ぐことができればと思っています。すべての子どもたちが安心して、地域の方々とともに学ぶ学校づくりに全職員で力を合わせ進めてまいります。今年も、皆さまのあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。す。



【昭和38年頃の校舎】

行事予定

1月

- 15日(木)ささゆり号(高) PTA理事会
- 16日(金)「1.17は忘れない」防災学習
- 17日(土)宍粟市書き初め展 (はがてらす)
- 18日(日)宍粟市書き初め展 (はがてらす)
- 21日(水)クラブ活動
- 22日(木)読み聞かせ
学校評議員会
- 28日(水)小中一貫総会



2月

- 7日(土)学習発表参観日
- 9日(月)振替休業日
- 13日(金)スキー教室(5.6年)
- 17日(火)新入生入学説明会・体験入学
- 18日(水)フルートのワークショップ(5.6年)
クラブ活動
- 19日(木)ささゆり号(低)
- 26日(木)花まるロード(3年)



↑ ホームページ QR コード



「学習発表参観日」

- 期日・・・2月7日(土)
- 開場・・・8時15分
- 開演・・・8時45分

子どもたちの1年間の学びを発表しますので、ぜひお越しください。



学習発表参観日のお知らせ
神野小学校では、次のとおり、令和7年度の学習発表参観日を実施します。
ねらい

- ①日々の学習の成果を発表し、各学年の学習を定着させるとともに表現力の向上をはかる。
- ②さまざまな表現活動に取り組み中で、表現する楽しさや、集団として高め合う喜びを味わわせる。